

令和4年6月14日

智頭町議会議長 谷口 雅人 様

智頭町議会議員 河村 仁志  
谷口 雅人

### 議員派遣結果報告書

令和4年4月27日に決定された議員派遣について、下記のとおり報告します。

#### 記

#### 1. 派遣名

- (1) 令和4年度町村議会議長・副議長研修会
- (2) 鳥取県町村議会議長会議長・副議長研修会

#### 2. 目的

議会の重責を担う議長及び副議長を対象に開催される研修会に参加することにより、町村議会が果たすべき役割の重要性を再認識し、議会・議員活動の一層の活性化に資する。

#### 3. 派遣場所

- (1) 東京都千代田区丸の内3丁目5番1号 「東京国際フォーラム」
- (2) 東京都千代田区永田町1-11-35 「全国町村会館」

#### 4. 期 日 令和4年5月30日、31日

#### 5. 内容等

- (1) 令和4年度町村議会議長・副議長研修会
  - ・開会あいさつ  
全国町村議会議長会 会長 南雲 正 氏 (新潟県湯沢町議会議長)
  - ・研修テーマ、講師  
「町村議会のあるべき姿」 東京大学名誉教授 大森 彌 氏  
「町村議会議員報酬について」 大正大学社会共生学部教授 江藤 俊昭 氏  
「地方議会とハラスメント」 上智大学法学部教授 三浦 まり 氏

(2) 鳥取県町村議会議長会議長・副議長研修会

・演題、講師

「新型コロナウイルス感染症対策と今後の地域活性化について」

総務省新型コロナ対策地方連携総括官 大村 慎一 氏

6. 所 感

(1) 全国の町村議会に対して、「議会のあるべき姿」「議員報酬について」「議会とハラスメント」の3部構成で講演を拝聴した。

大森氏は議会の設置から二元代表制の意義や議会の1/6の壁の意味、議会議員への期待としての考え方、制度の成り立ちなどの説明など、江藤氏は本町でもお世話になった議員報酬についての考え方や進め方など、三浦氏は現在の議会内での異性間同性間での議会内でのハラスメントの実態やなぜハラスメントがおきるのか、どのように防止するのかなどの事例を交えての講話であった。内容は普段では聞けないような議会運営の成り立ち、事例を挙げての講話、報酬改正の進め方や課題、いずれの内容も今後議会運営を進めて行く上で、参考にすべき点の多い、意義ある内容であった。

本研修会はコロナ禍により3年ぶりの開会であった。参加した多くが初めて、もしくは、久々の研修であり全国の町村議会が一同に会し大所高所がらものを考える良い機会であった。

(2) 町村会館を会場に鳥取県町村議会議長会議長・副議長研修会が、議長・副議長16名と事務局5名、計21名で参加、開催された。総務省総括官の大村氏は鳥取県庁の地方課の出向経験者で鳥取の事も詳しく親近感の持てる講師であった。

新型コロナウイルス感染症対策、ワクチン接種、自治体のBCP（業務継続計画）、経済支援策の4項目を軸とした内容の講演であり、特に自治体のBCPでは機能マヒに陥る前の業務区分の考え方など、間近に迫る、また、何時でも起きうる地方公共団体の維持機能の危機管理と業務継続に関してとても参考になる内容であった。

鳥取県では、全ての19市町村が「業務継続計画」が作成され対応可能な状態と危機管理体制も整っていた。本町において議員も業務継続計画を確認して自治体の一員としての役目を果たすべきと感じた。